

令和5年度宮城大学アカデミック・インターンシップ実施要領

1. 目的

- (1) 高校生に「宮城大学での学び」に触れてもらい、「深い学び」について考えてもらう機会や自己の進路に対する目的意識を高めてもらう機会を提供します。
- (2) 宮城大学での授業を通じ、宮城大学で学ぶことの魅力や、学問の深さ・探究心を養ってもらう契機とします。

2. 日程

令和5年8月8日（火）の1日間

3. 会場

看護学群，事業構想学群コース：宮城大学大和キャンパス（宮城県黒川郡大和町学苑1-1）

食産業学群コース：宮城大学太白キャンパス（宮城県仙台市太白区旗立二丁目2番1号）

4. 募集対象

進路を定める準備段階にある高校2年生とし、かつプログラムに参加できる意欲ある生徒で、最大210名程度を想定しています。※高校1年生，3年生は申込できません。

5. 開講科目について

【大和キャンパス 基盤教育科目】※看護学群及び事業構想学群 全受講生共通必修科目

「高校時代の科学的な健康体力づくり -そのボディメイク，ダイエット，トレーニングは“自分にとって”正しい? -」

講 師 河西 敏幸先生（基盤教育群担当）

日 時 令和5年8月8日（火） 9：45～10：45

場 所 大和キャンパス 大講義室

【概要】高校時代（及びその前後）の誤ったボディメイクなどは、将来的な健康生活に大きく、長く影響することがあります。適切な食事コントロールや運動をしているつもりなのに「体形が崩れていく」、「体力・運動能力・パフォーマンスが上がらない」といった場合、その方法は科学的に正しくないか、自分に合っていない可能性があります。本講座では、最新理論や実践例（身体の動かし方）などを紹介していきますので、自分にとって最適な健康体力づくりのヒントを探っていきましょう。

【太白キャンパス 基盤教育科目】※食産業学群 全受講生共通必修科目

「英語と日本語の違いを理解し楽しむ」

講 師 マーガレット・チャン先生（基盤教育群担当）

日 時 令和5年8月8日（火） 9：45～10：45

場 所 太白キャンパス 大講義室

【概要】日本人が英語を学ぶ際に苦勞することのひとつに、英語と日本語の発音や語順の違いがあります。日本語の発音はシラブルタイミング（各音節の長さや拍が比較的等しい）、英語はストレスタイミング（音節の長さや強さが異なる）。次のような例を考えてみましょう：

コンピューター computer

コーヒーカップ coffee cup

日本語の語順は左分岐（説明文や詳細が主語の左に来る）、英語は右分岐（詳細が主語の右に来る）です。次の例を見てください：

早く走る run quickly

私の隣に座っている人 the person sitting next to me

このセッションでは、このような英語と日本語の興味深い違いを理解し、実践するための様々なアクティビティを体験していただきます。

【各学類専門科目】

以下の6つの講座から1つを選択し、受講します。

○看護学群（1講座）

【看護学類】「身体の外側から内側を感じる・考える」

講 師 金子 健太郎先生（看護学類担当）

日 時 令和5年8月8日（火） 11:05～15:35

場 所 大和キャンパス 301講義室 及び スキルス・ラボ

定 員 原則35名程度

【概要】人々の健康な生活を支援する看護において、身体を「観察する」ことは重要な位置づけにあります。例えば、何らかの援助を施す際に、観察しないまま始められませんか、援助中も援助後も観察がなければ、その援助は効果的なのか、ねらい通りだったのかどうかを評価できません。本講座では、身体の外側の観察から身体の内側を感じる・考えるプロセスをみなさんと共に体験し、身体の面白さ・奥深さについても触れていきたいと思います。

○事業構想学群（3講座）

【事業プランニング学類】「自分の”価値”って何だろう？ ～商品の差別化戦略を通して～」

講 師 安藤 裕先生（事業プランニング学類担当）

日 時 令和5年8月8日（火） 11:05～15:35

場 所 大和キャンパス 403講義室

定 員 原則35名程度

【概要】商品が市場で売れるためには、ライバルには無い独自の”価値”が必要になる。あなたがこの社会で活躍していくためには、ライバルには無い独自の”価値”が必要となる。あなたを1つの商品に例えた場合、どのような商品戦略やプロモーション戦略を取るべきなのか。商品の差別化戦略を通して、価値の創り方を一緒に考えます。

【地域創生学類】「人の目、鳥の目、宇宙の目、DXを活用した地域の見方」

講 師 石内 鉄平先生（地域創生学類担当）

日 時 令和5年8月8日（火） 11：05～15：35

場 所 大和キャンパス プルスウルトラ

定 員 原則35名程度

【概要】 地域に点在する課題の発見や解決策の検討には、さまざまな視点から地域を見る目を養うことが必要不可欠です。そこで地域創生学類では、グループワークにて地域課題を話し合うとともに、地域を人の目、ドローンの目、衛星画像の目から見る際のメリット・デメリットについて紹介します。さらに、参加者の皆さんには3次元実体視及びドローン操縦のためのプログラミング体験を通じて、地域課題の解決策について検討してもらいます。

【価値創造デザイン学類】「ビジュアルコミュニケーションー視覚によるメッセージ伝達」

講 師 土岐 謙次先生（価値創造デザイン学類担当）

日 時 令和5年8月8日（火） 11：05～15：35

場 所 大和キャンパス 413講義室

定 員 原則35名程度

【概要】 あなたが見ている世界は他の人にはどう見えているのでしょうか？自身の根ざす文化や習慣、歴史が違えば世界の見え方も違ってきます。同じモノに対する価値観もまた違ってくるでしょう。

コミュニケーションは発信する側の意図も大切ですが、なによりも、受け取り側がいかに感じるかということが最も重要です。個人が写真や動画で発信する機会が増え、当たり前になったビジュアルを通してコミュニケーションを図る現代において、受け手の想いに創造力を働かせてメッセージを発信することはメディアを扱う際の大切なリテラシーとなっています。

この講座では1つの事象に対して多様な価値観があり得ることをビジュアルイメージを通して考えます。

※講義ではOffice365のForms等を使います。参加に当たってはスマートフォンやPC等のウェブに接続できる端末をご持参ください。

○食産業学群（2講座）

【生物生産学類】「『食』とSDGs：持続的な食料生産からエシカル消費まで」

講 師 川島 滋和先生（生物生産学類担当）

日 時 令和5年8月8日（火） 11：05～15：35

場 所 太白キャンパス 203講義室

定 員 原則35名程度

【概要】 SDGs（持続可能な開発目標）には17の目標がありますが、その多くは「食」と深い関わりがあります。それは、私たちは食べることなくして生きていけないからです。食料を持続的に生産できるような資源（水、農地、遺伝資源等）を維持・管理することはもちろん、食品ロスや廃棄の問題を解決し、エシカルな消費へと転換しなくてはなりません。「食」のさまざまな問題とSDGsがどのようにつながっているのかを考えてみませんか。

【フードマネジメント学類】「見たことのない『おいしい食感ドリンク』をつくってみよう！」

講 師 石川 伸一先生（フードマネジメント学類担当）

日 時 令和5年8月8日（火） 11:05～15:35

場 所 太白キャンパス 204講義室, 実験棟

定 員 原則35名程度

【概要】皆さんは、おいしい食を通じて幸福感を感じたことがあるのではないのでしょうか。私たちが豊かな生活を営むためにはおいしい食は必須です。また、大昔の火の発見から現在に至る低温調理器まで、私たち人類は新しい調理技術を開発し続けています。本講義では、エスプーマなど新たな調理法である分子調理法を学んだ後、「おいしい食感ドリンク」を考え、実際につくってもらいます。そして「おいしさとは何か」や「おいしさの未来」などについて一緒に考えましょう。

6. 申込方法, その他

- ・受講申込みは、高等学校で取りまとめた上で申込みを行ってください(個人申込みは受け付けておりません)。また、1高等学校当たり各学類5名までを申込人数の上限とします（6学類合計で30名まで）。申込人数の上限を超えての申込みはできかねますのでご了承ください。
なお、受講生自ら事前エントリーシートに受講理由を指定された字数内でWordファイルにて入力し（手書き不可）、申込書（Wordファイル）、参加者名簿（Excelファイル）と合わせてメールにて宮城大学高大連携推進室事務局【kouhou@myu.ac.jp】まで送付してください。なお、郵送での送付は受け付けておりません。
- ・参加者名簿、エントリーシートに記載する希望講座（学類）は第二希望まで指定できます。第一希望と第二希望は異なる学群の学類でも構いません。第二希望まで指定する場合は、エントリーシートは第一希望、第二希望で計2枚の記載をしてください。なお、1高等学校で各学類5名までの申込人数の上限については第一希望の学類でカウントしますので、申込書に記載する希望講座（学類）の希望人数は第一希望の学類にてご記載ください。なお、第一希望のみの申込みでも構いません。
- ・定員を超えて応募があった場合、エントリーシートを基に選抜することがあります。その結果、第二希望の学類の受講となる場合や、受講不可となる場合もありますので予めご了承ください。受講の可否は7月3日（月）の受講決定時に各高等学校へ連絡します。
- ・受講を完了した方には、宮城大学から修了証書を交付します。
- ・講座に関する受講料は無料ですが、受講に係る交通費等は受講生の負担となります。
- ・講座の実施に当たり、宮城大学はレクリエーション損害保険に加入しております。
- ・申込書に記載いただいた学校担当者様は、受講決定に係る連絡窓口やレポートの送受をご担当願います。当日8月8日（火）の会場への引率は不要です。

7. 今後のスケジュール（予定）

6月1日（木）

各講座のテーマや内容等の資料及び申込書を本学ホームページ等で公開します。

6月1日（木）～6月22日（木）【申込期間】

各高等学校当たり各学類5名までの申込人数上限にてご留意の上、取りまとめください（6学類合計で30名まで）。申込書及び参加者名簿、参加者のエントリーシートはいずれも電子ファイルで作成の上、電子メールで【kouhou@myu.ac.jp】まで提出してください

※高等学校単位での申込みとなります。郵送や個人での申込みは受け付けておりません。

7月3日（月）

本学で申込人数を集計・確認後、各高等学校へ受講決定の連絡をします。

※定員を超えて応募があった場合、エントリーシートを基に選抜することがあります。その結果、第二希望の学類の受講となる場合や、受講不可となる場合もありますので予めご了承ください。

※講座によっては事前課題に対応していただくことがあります。

8月8日（火）

受講生に各実施会場へそれぞれお越しいたします。

詳しくは8. 当日のスケジュール（予定）をご覧ください。

9月8日（金）【レポート提出期限】

学類によっては、講座の際にレポートが宿題として課されます。レポートの提出は、各高等学校で取りまとめの上、電子メール又は郵送により行っていただきます。

10月中旬

レポートがある学類は、提出されたレポートに担当講師がコメントを付して各高等学校へ電子メール又は郵送にて返却します。

8. 当日のスケジュール（予定）

別紙をご参照ください。

【令和5年度宮城大学アカデミック・インターンシップスケジュール】

令和5年8月8日(火)

会場	大和キャンパス				太白キャンパス	
学群	看護学群	事業構想学群			食産業学群	
コース	看護コース	事業プランニングコース	地域創生コース	価値創造デザインコース	生物生産コース	フードマネジメントコース
教員	金子 健太郎先生	安藤 裕先生	石内 鉄平先生	土岐 謙次先生	川島 滋和先生	石川 伸一先生
教室	スキルス・ラボ 301講義室	403講義室	プルスウルトラ	413講義室	203講義室	204講義室, 実験棟
受講者数	35名	35名	35名	35名	35名	35名
9:00～9:30 (30分)	受付					
9:30～9:45 (15分)	開講式・オリエンテーション(大講義室)				開講式・オリエンテーション (1階 大講義室)	
9:45～10:45 (1時間)	基盤教育群 講座 河西 敏幸先生(大講義室)				基盤教育群 講座 マーガレット・チャン先生 (1階 大講義室)	
10:45～11:05 (20分)	移動					
11:05～11:55 (50分)	講座① (301講義室, スキルス・ラボ)	講座① (403講義室)	講座① (プルスウルトラ)	講座① (413講義室)	講座① (203講義室)	講座① (204講義室, 実験棟)
11:55～12:35 (40分)	昼食					
12:35～14:05 (90分)	講座② (301講義室, スキルス・ラボ)	講座② (403講義室)	講座② (プルスウルトラ)	講座② (413講義室)	講座② (203講義室)	講座② (204講義室, 実験棟)
14:05～14:15 (10分)	休憩					
14:15～15:35 (75分)	講座③ (301講義室, スキルス・ラボ)	講座③ (403講義室)	講座③ (プルスウルトラ)	講座③ (413講義室)	講座③ (203講義室)	講座③ (204講義室, 実験棟)
15:35～16:00 (25分)	閉講式, 修了証書の授与, アンケートの回答 (301講義室, スキルス・ラボ)	閉講式, 修了証書の授与, アンケートの回答 (403講義室)	閉講式, 修了証書の授与, アンケートの回答 (プルスウルトラ)	閉講式, 修了証書の授与, アンケートの回答 (413講義室)	閉講式, 修了証書の授与, アンケートの回答 (203講義室)	閉講式, 修了証書の授与, アンケートの回答 (204講義室, 実験棟)